

**大学**

**カーセックス愛好サークル**

**車内で大乱交**

出発した最寄り駅を出てもう2時間は経過しただろうか……。  
私たちは、エネルギッシュな肉体交接の真っ只中にいた。

「んもっとお！！もっとズチュズチュしてえ！！激しく！！もっともっと激しくなきゃダメなのお！！」

同乗したユリカが狂乱の声を出している。

現在現在高速を走るこのミニバンからは、どれだけ大声を出しても誰にも迷惑はかけない。

猛スピードで走るこの車内は、もはやただのカーセックスなどではなく大乱交の巣と化している。

私たちは大学生。元々ごく普通の、いやむしろ真面目なくらいの学生で、このサークルも当初は平凡なバスケットボールサークルだった。しかし当然ながら内には等身大の強い性欲を秘めていたわけで……。

シンプルな話だ。要はふとしたきっかけでその性欲が爆発し、開き直ってしまったのだ。

その結果、私たちは大学生活の途中から色情の中に溺れ切り、今では常日頃からこの男女混合サークルのメンバー間ととにかくやってやってやり続ける日々だ。

この日だってドライブと言いながら、ひたすらスペースのある大きなツーボックスカーの中で、裸になって汗を垂らしてずっとずっと交尾しているのだ。

「チンポォッ！！チンポもっと欲しいの！チンポチンポチンポォッ！！」

ユリカだけでなく、この日車に乗っているメンバーの中の、運転する私を除いたもう一人の女子であるアキナもまさしく“クレイジー”だ。

普段の理性は完全に失われ、とても正気の沙汰とは思えない狂乱ぶりで男の肉体を求めている。

「肉の棒っ！！肉の棒をもっと欲しいのお！！肉棒！！チンポって言うお肉の棒棒棒！！」

———体験版はここまでです———